

令和2年 保育士試験(後期)及び  
国家戦略特別区域限定保育士試験問題

子どもの保健

(選択式 20 問)

指示があるまで開かないこと

解答用紙記入上の注意事項

- 1 解答用紙と受験票の受験番号が同じであるか、カナ氏名・科目名を確認し、誤りがある場合は手を挙げて監督員に申し出ること。
- 2 漢字氏名を必ず記入すること。
- 3 解答用紙は、折り曲げたりメモやチェック等の書き込みをしないこと。
- 4 鉛筆またはシャープペンシル (HB～B) で、濃くはっきりとマークすること。  
正しく記入・マークされていない場合は、採点できないことがあります。

(良い例) … ● (濃くマークすること。はみだしは厳禁)

(悪い例) … ○ ● ⊗ ⊘ ⊚ ⊙ ⊛ ⊜

- 5 各問に対し、2つ以上マークした場合は不正解とする。
- 6 訂正する場合は、「消しゴム」であとが残らないように消すこと。

問1 次のうち、「母子保健法」で定められていないものを一つ選びなさい。

- 1 新生児訪問指導
- 2 予防接種
- 3 健康診査
- 4 保健指導
- 5 母子健康手帳の交付

問2 次のうち、保育所が子どもの健康の保持・増進のために整備すべき養育環境として、不適切なものを一つ選びなさい。

- 1 子どもが身体を十分に動かし、のびのびと行動できるようにする。
- 2 災害時に安全に避難できるようにする。
- 3 危険な場所がなく、安全に過ごせるようにする。
- 4 決まりを守り生活習慣が身に付けられるよう学べる。
- 5 危険を回避するため戸外遊びを控え、室内で遊べるようにする。

問3 次の文は、子どもの健康と環境に関する記述である。( A ) ~ ( D ) にあてはまる適切な語句の組み合わせを一つ選びなさい。

子どもを取り巻く家庭、社会、自然といった環境は、子どもの生活に ( A ) に関わって、子どもの健康や発達に影響を与えている。

保育所では、仲間と一緒にできる、お手本がある、励まし合えるといった、( B ) であることによるメリットを生かした積極的な教育が可能である。

通常の条件下では危険ではないが、何らかの条件の変化で危険となって現れる危険を ( C ) という。

調理室やトイレ、手洗い場は ( D ) の観点で、特に清潔の維持を意識した工夫、清掃、管理が必要になる。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	相互的	集団	潜在危険	感染予防
2	一方向的	個人	潜在危険	事故予防
3	相互的	集団	顕在危険	感染予防
4	一方向的	個人	顕在危険	事故予防
5	相互的	個人	潜在危険	感染予防

問4 次のA～Dのうち、子どもということばに関する説明を示したものとして、適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 「母子保健法」による新生児とは、出生後30日を経過しない乳児をいう。
- B 「母子保健法」による乳児とは、1歳に満たない者をいう。
- C 「母子保健法」による幼児とは、満1歳から小学校就学前までをいう。
- D 「児童福祉法」による児童とは、満18歳に満たない者をいう。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	○
2	○	○	×	×
3	○	×	×	○
4	×	○	○	○
5	×	×	○	×

問5 保育所の重大事故における対応として、子どもが意識を失って倒れていた場合、次のうちから適切なものを一つ選びなさい。

- 1 心臓マッサージを大人の場合の倍の速さで行った。
- 2 胸部に吐物が付着していたが、蘇生を急ぐべきと考え、AEDの電極をそのまま貼った。
- 3 意識を失って倒れている子どもに駆け寄りながら、大声で人を呼んだ。
- 4 近くに人がいなかったため、AEDをとり、その場を離れた。
- 5 保護者への連絡は状況が落ち着くまで控えた。

問6 次のうち、保育所や地域における子どもへの虐待防止や虐待対応について、適切でないものを一つ選びなさい。

- 1 虐待を通告した人の個人情報法律によって守られる。
- 2 保護者との関係を壊さないことを優先し、通告は控える。
- 3 子どもへの虐待による死亡は、1歳未満が約半数を占める。
- 4 社会的に孤立し援助者が少ない場合、虐待は起こりやすい。
- 5 妊婦健診や乳幼児健診を受診していない場合、子どもを虐待していることが多い。

問7 新生児に普通に見られる反射運動で、ある時期になると消えていくものを原始反射というが、次に示す反射と、その発現から消失時期の組み合わせで不適切なものを一つ選びなさい。

〈原始反射〉	―――	〈発現～消失時期〉
1 大きな音でびっくりしたときや落ちると感じたときに起こる。腕は伸び、さらに抱きしめるような動きがある（モロー反射）	―――	出生時 ～ 4か月ごろ
2 頬や口のまわりを指で触れるとそちらに顔を向けて探し、口を開けたりする反射（探索反射）	―――	出生時 ～ 4か月ごろ
3 口唇に触れると乳を吸う動作をする（吸啜反射）	―――	出生時 ～ 12か月ごろ
4 背臥位のときに頭部を右もしくは左の方向（一つの方向）に向けると、顔の向いた側の手足は伸びて、反対側の手足は曲がっている姿勢（フェンシングの姿勢）をとる（緊張性頸反射）	―――	出生時 ～ 5か月ごろ
5 足の裏をペンなどで刺激すると、足の指は背屈し扇状にひろがる（バビンスキー反射）	―――	出生時 ～ 24か月ごろ

問8 次のA～Eのうち、子どもにみられる症状あるいは疾患について述べたものとして、適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 発熱を判定する場合、その子どもの通常の体温（平熱）を把握している必要がある。
- B 腹痛とは、腹部の痛みであるが、年少幼児では痛みの局在がはっきりとしないこともある。全身状態の観察が重要である。
- C けいれんとは、意識消失とともに全身または体の一部の筋肉が、意志とは関係なく発作的に収縮することをいう。
- D 水痘は特徴的な発しんが重い場合は全身的に出現するが、頭皮にはみられないのが特徴である。
- E 麻しんは高熱を発して、顔面や頸部から出現した発しんが、下降的に広がり消退する時に色素沈着を残す。

(組み合わせ)

	A	B	C	D	E
1	○	○	○	○	○
2	○	○	×	×	○
3	○	×	×	○	○
4	×	○	○	○	×
5	×	×	○	×	×

問9 次の文は、子どもの病気を早期発見するための、いつもと違う子どものサインに気づくためのポイント（「保育所における感染症対策ガイドライン（2018年改訂版）」参照）についての記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 親から離れず機嫌が悪い（ぐずる）
- B 睡眠中に泣いて目が覚める
- C 元気がなく顔色が悪い
- D きっかけがないのに吐いた
- E 便がゆるい

（組み合わせ）

	A	B	C	D	E
1	○	○	○	○	○
2	○	○	×	○	○
3	○	×	○	×	×
4	×	○	×	×	○
5	×	×	○	○	×

問10 次のA～Dは、保育所で子どもに薬を与える場合に関して、「保育所保育指針解説」（平成30年3月 厚生労働省）第3章「健康及び安全」（3）「疾病等への対応」に示されている記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 医師の診断・指示によるものに限る。
- B 保護者による与薬依頼書が必要である。
- C 与薬依頼書には、薬の名前・種類、使用方法の記載が必須であるが、医師名は必要に応じて記載する。
- D 与薬の誤りがないように、決められた一人の保育士が行う。

（組み合わせ）

	A	B	C	D
1	○	○	×	×
2	○	×	×	○
3	×	○	○	×
4	×	○	×	○
5	×	×	○	○

問 11 次の【事例】を読んで、【設問】に答えなさい。

**【事例】**

Yさんは9歳の女兒である。周産期、乳幼児健診で異常を指摘されたことはない。幼児期より内向的で保育所では友人は少なく登園渋りがあった。小学校に入学後、登校時に腹痛を来すようになり不登校となった。次第に母が外出しようとする「お母さんが事故に遭って死んでしまったらどうしよう」と泣き出し留守番ができなくなった。

**【設問】**

次のうち、Yさんの主な精神医学的問題を、一つ選びなさい。

- 1 パニック障害
- 2 分離不安障害
- 3 強迫性障害
- 4 自閉スペクトラム症
- 5 選択性緘黙



問 12 次の文は、注意欠如・多動症についての記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A DSM-5 の診断基準によれば、不注意、多動性及び衝動性の症状が、2つ以上の状況（例：家庭、学校）で存在する必要がある。
- B 近年の疫学調査によると、有病率は学童期で約 20%である。
- C 病因として遺伝的関与が強い。
- D 自閉スペクトラム症を併存することがある。
- E 出生体重が 1,500 g 未満で生まれることは、注意欠如・多動症のリスク因子である。

(組み合わせ)

	A	B	C	D	E
1	○	○	○	○	×
2	○	○	×	○	○
3	○	×	○	○	○
4	×	○	×	×	○
5	×	×	×	×	×

問 13 次の文は、発達性協調運動症に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 脳性麻痺や筋ジストロフィーが原因になる。
- B 協調運動技能の獲得が、その人の生活年齢に応じて期待されるものより明らかに劣っている。
- C 症状は、不器用さや運動技能の遂行における遅さと不正確さによって明らかとなる。
- D 学業や就労後の活動に影響を与えている。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	○
2	○	○	○	×
3	×	○	○	○
4	×	×	×	○
5	×	×	×	×

問 14 次の【事例】を読んで、【設問】に答えなさい。

【事例】

自閉スペクトラム症と診断されている5歳のSくん。保育所で制作の時間に突然保育室を飛び出してしまった。担当保育士が後を追いかけると、水場のところでびしょ濡れになってひとりで遊んでいた。

【設問】

担当保育士による、Sくんに対する配慮として適切なものを○、不適切なものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A あまりに楽しそうに遊んでいたので、制作は中止にして、みんなで一緒に遊ぶことにした。
- B 今、何をやる時間なのかがわかっていなかった可能性を考え、Sくんがわかるように絵を使って教えるようにした。
- C 水遊び以外にSくんが興味を持てる電車やくるまを制作に取り入れる工夫をした。
- D 今は制作の時間であることを口頭で強く伝えた。

(組み合わせ)

	A	B	C	D
1	○	○	○	○
2	○	○	×	×
3	○	×	○	○
4	×	○	○	×
5	×	×	×	×

問 15 次の文は、日本人の自殺に関する記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 年間の自殺者数は、平成 10 年以降、現在まで 3 万人台が続いている。
- B 過去に自殺企図をして生き残った人は、その後自殺企図を繰り返さない。
- C 平成 30 年の人口動態統計によれば、15 歳～19 歳の死因の第 1 位は自殺である。
- D 平成 30 年中における自殺の状況（厚生労働省）によれば、未成年者の自殺の原因は、いじめが過半数である。
- E 産後うつ病では、子どもとの心中が起こることはない。

(組み合わせ)

	A	B	C	D	E
1	○	○	×	×	○
2	○	×	○	○	×
3	×	○	×	○	○
4	×	×	○	○	×
5	×	×	○	×	×

問 16 次のうち、保育所において対応が求められる、乳幼児がかかりやすい代表的なアレルギー疾患について、適切な記述を一つ選びなさい。

- 1 食物アレルギーは、すべてのアレルギー疾患の元になる。
- 2 幼児では、アレルギー性鼻炎はほとんどみられない。
- 3 乳幼児の気管支喘息は、感染によるものでアレルギーではない。
- 4 アトピー性皮膚炎は、自ら訴えることの少ない乳幼児においても痒いことが特徴である。
- 5 アナフィラキシーは、皮膚を含めて3つ以上の臓器に急に出る症状である。

問 17 次のうち、感染症名と「学校保健安全法施行規則」に定められる出席停止期間の組み合わせとして、適切なものを○、不適切なものを×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 麻疹 ————— 解熱した後3日を経過するまで
- B 流行性耳下腺炎 —— 耳下腺、顎下腺又は舌下腺の腫脹が発現した後3日を経過し、かつ、全身症状が良好になるまで
- C 風しん ————— 発しんが消失するまで
- D 水痘 ————— すべての発しんが消失するまで
- E 咽頭結膜熱 —— 主要症状が消退した後2日を経過するまで

(組み合わせ)

	A	B	C	D	E
1	○	○	○	×	×
2	○	×	○	×	○
3	×	○	○	×	○
4	×	×	○	×	○
5	×	×	×	○	○

問 18 次の文は、日本で接種することができるワクチンについての記述である。適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 水痘ワクチンは、定期接種として実施されている。
- B 3種混合ワクチンは、ジフテリア、百日ぜき、破傷風に対するワクチンである。
- C ポリオワクチンは、不活化ワクチンである。
- D BCG は、結核に対するワクチンである。
- E MR ワクチンは、麻しんと風しんに対するワクチンである。

(組み合わせ)

	A	B	C	D	E
1	○	○	○	○	○
2	×	○	○	○	○
3	×	×	○	○	○
4	×	×	×	○	○
5	×	×	×	×	×

問 19 次の文は、「保育所における感染症対策ガイドライン（2018年改訂版）」（厚生労働省）の一部である。（ A ）～（ E ）にあてはまる語句の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- ・ 集団での午睡や食事、遊び等では子ども同士が（ A ）接触することが多いため、（ B ）や接触感染が生じやすいということに留意が必要である。
- ・ 特に乳児は、床をはい、また、手に触れるものを何でも（ C ）といった行動上の特徴があるため、接触感染には十分に留意する。
- ・ 乳幼児が自ら正しいマスクの着用、適切な（ D ）の実施、物品の衛生的な取扱い等の基本的な（ E ）を十分に行うことは難しいため、大人からの援助や配慮が必要である。

(組み合わせ)

	A	B	C	D	E
1	互いに	飛沫感染	食べる	手洗い	予防対策
2	濃厚に	経口感染	舐める	うがい	衛生対策
3	濃厚に	飛沫感染	舐める	手洗い	衛生対策
4	互いに	経口感染	食べる	手洗い	予防対策
5	濃厚に	経口感染	舐める	うがい	予防対策

問 20 次の A～Eのうち、子どもの日光・紫外線への対応に関する記述として、適切な記述を○、不適切な記述を×とした場合の正しい組み合わせを一つ選びなさい。

- A 子どもの時に浴びた紫外線の影響が、数十年後に現れる可能性がある。
- B 乳児はビタミンD不足にならないよう、直射日光が皮膚に当たるようにする。
- C 日焼けで水ぶくれができたなら皮膚科を受診する。
- D 子ども用の日焼け止めクリームは、皮膚の敏感な人用のものと同様の成分になっている。
- E 日焼け止めクリームは、一回塗れば半日以上有効である。

(組み合わせ)

	A	B	C	D	E
1	○	×	○	○	○
2	○	×	○	○	×
3	○	×	×	○	○
4	×	○	○	○	×
5	×	×	○	×	○